

令和2年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、令和2年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価 項 目	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	おおむね満足	スクーリングの視察を通して、教員が生徒に声を掛けながら授業を進めていくなど、より一層のコミュニケーションが図られた授業が実施されている点は評価できる。一方で、添削指導については、これまで以上に生徒一人ひとりの学習状況に応じた解説や自主学習を進めるアドバイス等を記載するための添削例の研究、レポートの様式にメッセージ欄を追加する等の生徒への細やかな対応が必要である。
	生徒の状況	生徒指導等の状況 生徒の人格的発達の状況 安全管理の状況	おおむね満足	生徒が意欲的に授業に取り組む姿勢が感じられた。また、授業への参加が難しい生徒に対し、別室で個別対応が図られていたことは評価できる。 引き続き、時代の変化、生徒の状況に応じて対応いただきたい。
	学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	おおむね満足	組織運営の状況について、以前の組織に比べ委員会、組織の体制が整えられてきている。今後も、職員間の意思疎通を十分に図り、効率的、効果的な組織運営が進められるようサポートいただきたい。 また、中学生が相生学院高校に進学したいと思えるような、高校をPRする学校案内の作成についての検討が必要である。

評価項目	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	おおむね満足	アンケートの実施について、取り組んでいる姿勢は評価できる。 一方で、適切に状況を把握し、生徒や保護者からの声を取り入れられた学校関係者評価を実施するためには、回答率を上げる工夫やアンケートの実施頻度を増やすなどの改善が必要である。 また、地域との連携について、海岸清掃ボランティアや、自然環境を利用した体験学習などを通して、地域との関わりを深める取り組みが必要である。
	学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	おおむね満足	地域の方へ向けて学校の情報を発信することは重要なことであるとともに、学校の特色が出るような発信内容等の検討が必要である。 また、相生学院高校がフリースクールの機能を有することで、学ぶ意欲はあるが、学校に行くことが出来ない市内小中学生に対応できる教育の場を設けることが可能となるため、特に優先度が高い市内中学校と連携した体制づくりの積極的な検討が必要である。
	市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	おおむね満足	相生市との連携協力体制は、確立されていると思われる。
総括・課題	<p>今年度は、現地において実際の学校の様子や、スクーリングにおける生徒・教職員の授業風景を見た上で評価を行うことができ、生徒の学習に取り組む姿を直接見られたことは良かった。一方、特別活動において、地域との関わりが少なくなっている実態も見られることから、今後は積極的な地域との連携協力を努めていただきたい。また、前年度より指摘のあった事項に関して、見直し及び改善されている点については、評価できる。さらなる改善点としては、相生学院高校の経営及び校務運営の実体を分かり易くするため、あらゆる項目を評価対象と考える。数値化することで評価の信憑性が増し、課題が明確になる。また、学校評価の詳細を発信することで、生徒や教職員の求める学校の姿が、地域や中学校に認識されやすくなると思われるので、引き続き、各方面からの意見収集と情報発信に努めていただきたい。</p>			

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。